

7割が時短料理派

トマト^{など}とサラダ野菜を重宝

タキイ

タキイ種苗が8月31日の「やさしい日」を前に行った調査(対象=全国の20歳以上の男女600人)によると、約7割の人が「時短料理派」であることが明らかとなった。料理に「時間をかけてこだわりたい」人を33・0%、「味よりも時短を優先する」人は67・0%だった。

平日1日当りの料理にける時間について、男性は「30分」(21・3%)、「15分」(17・7%)、「1時間」(10・0%)が多かった。最も多かったのは「料理ほしない」(38・0%)だった。一方で女性は、「1時間」(22・3%)、「30分」(20・0%)、「45分」(15・3%)が多く、「料理をしない」(8・0%)は少数派だった。これを共働き世帯でみてみると、男性は全体に比べ料理時間が短縮され、女性は長くなる傾向にある。共働き世帯では、料理は女性の担当になっていることがうかがえる。

こうした料理をする時間

また、野菜の包装についても調査を行ったところ、8割が「包装なしの野菜に抵抗感なし」、6割が「包装がない(少ない)方がいい」と回答した。理由として、「地球にやさしいと思うから」(60・0%)、「調理する際にゴミを捨てるのが面倒くさいから」(58・6%)、「より新鮮だと思うから」(24・4%)の割合が高かった。「調理する際にゴミを捨てるのが面倒くさい」が6割近くにのぼるなど、ここでも時短志向の高まりがうかがえる結果となった。

「野菜の包装について調査を行ったところ、8割が「包装なしの野菜に抵抗感なし」、6割が「包装がない(少ない)方がいい」と回答した。理由として、「地球にやさしいと思うから」(60・0%)、「調理する際にゴミを捨てるのが面倒くさいから」(58・6%)、「より新鮮だと思うから」(24・4%)の割合が高かった。「調理する際にゴミを捨てるのが面倒くさい」が6割近くにのぼるなど、ここでも時短志向の高まりがうかがえる結果となった。

こうした料理をする時間